

交流サロン「21cafe」

21cafeは、大阪人が歴史的に培った文化や経済などに対する自由闊達な心意気を、現代に受け継ぐ交流サロンです。大阪でさまざまな文化活動に携る人々の話を聞き、参加者と情報を交換・共有することで、新しいアイデアやコラボレーションのきっかけづくりを促します。大阪21世紀協会主催で、定期的に開催しています。

第13回 21cafe

平成20年8月28日／大阪市北区:レーベルカフェ
ゲスト ヤマトヒロユキ氏(アートディレクター)

アートイベントがつくる新しい大阪

ヤマト氏は、2006年より「御堂筋アートグランプリ」(通称MAG)をプロデュース。音楽・アート・デザイン・ダンス・ファッションなどのジャンルで、予選を勝ち抜いたクリエイター達のファイナルステージを御堂筋上に実現させました。「自分が本当にいいと思えることを、世の中に作り出すのが僕の生きがい」。ヤマト氏の活動はグラフィックに留まらず、空間やイベントのプロデュースまで多岐にわたります。「一昔前の大阪には、大阪から才能あるミュージシャンを出していこう、という動きが街全体にあった。そういう動きを、今度は僕らが担っていきたい」。才能を発掘し、大阪から発信していく仕組みづくりにこだわります。



第14回 21cafe

平成20年9月25日／大阪市北区:レーベルカフェ
ゲスト 木村さやか氏(産経新聞大阪本社)

三浦雄一郎エベレスト登頂に同行して

学生時代にはワンダーフォーゲル部に所属していた木村氏は、三浦雄一郎氏が75歳の高齢でエベレストに挑戦すると聞き、社を説得して総合編集部記者として約2ヶ月間の同行取材を敢行。プロスキーヤーとして高名を博しつつも、登山家としての経験は乏しい三浦氏をサポートするべく組織されたのは総勢33名の登山隊。その紅一点として、高山での極限の状況を経験し、三浦氏の挑戦を日々目の当たりにしてきた木村氏の話は刺激的で、またかつて未踏峰、新ルート開拓を競ったアルピニズムにおける、新たなフロンティアのありかを示す時代の証言としても興味深いものでした。



大阪ブランド情報局NEWS

<http://www.osaka-brand.jp/>

大阪ブランド情報局は、大阪のさまざまなブランド資源情報を発信するホームページです。

「多士彩才」に、新たな才人登場!

「多士彩才」では、現代の大阪を舞台に活躍する、多彩でユニークな人々をご紹介します。また、「大阪万華鏡」アートコーナーでは、作家・演出家の松本雄吉さん(劇団維新派)に取材。松本氏の視点を通して関西野外演劇の神髄に迫ります。メディアコーナーでは関西在住・勤務の外国人を対象にした「Kansai Flea Market」の900号達成ニュースを伝えています。

多士彩才

木田好子氏



中之島全域をネットワーク化させて、大阪の音楽力の発信拠点にするのが夢。

音楽プロデューサー。大阪市中央公会堂で2006年から行われている「中之島国際音楽祭(大阪市など主催)を総合プロデュース。

北口正人氏



阪神コンテンツリンク常務。2007年8月に大阪・西梅田の「ハービスPLAZA ENT」に、多彩なライブ演奏が楽しめる「ビルボードライブ大阪」をオープン。大阪発祥のライブハウス文化に新風を吹き込む。